

会長の挨拶 35 一職種一会員制の本質—その 2—

これに対して大多数のロータリアンはロータリーの一職種一会員制こそ特定地域社会における奉仕の実効性を担保するものであると主張した。その理由は小堀憲助によると、社会に存在する諸々の団体には、その団体の達成しようとする目的に則した組織構造が存在する。例えば、町会、市会、国会と言った地方自治体や国家の立法機関では地域社会や国家社会の構成員の総意によって多数意見を集約しようという考え方が基本になっている。そして何万、何千万という人間が会議体に直接参加することが不可能であるという認識に立って、一定地域の代表人の選挙をその地域社会の構成員の投票によって行わせ、そして、構成員の総意の結集の仕方を多数得票という形でまとめ、最高得票者から数えて一定数の者を、当該地域社会の総意による支持を受けたものと考えするという建前をとっている。そして、地域社会の代表者の過半数を以て会議を成立せしめ、更に出席議員の過半数を以て、通常、その会議体の意思と考え、そして、その会議体の意思の背後には地域社会乃至国家社会構成員の総意の裏付けがあるものと考えようとするのである。こういった類の会議体のことを理論上代議制と呼んでいるのである。

(小堀憲助著『ロータリー思想の理論構造』より引用)